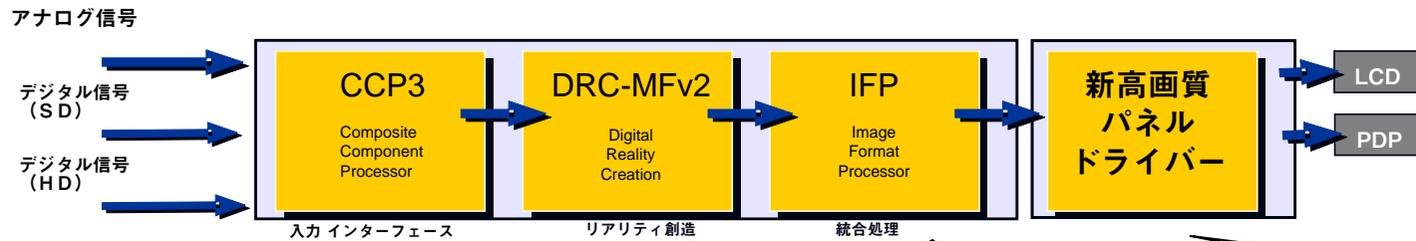


**“QUALIA 005” と<ベガ> HVXシリーズを共通で支える
ソニーならではの最先端技術
【参考資料】**

参考資料 1 : 高画質



統合デジタル高画質システム “ベガエンジンHD” を搭載
精細感、質感を追及した画作りにより更なる “リアリティ” を実現。



★高精度サンプリング性能の向上により、精細感、鮮鋭感を損なう小さなゆらぎ（ジッター）を大幅に低減
★3次元Y/C分離回路の性能向上により、色のにじみとノイズをさらに低減

★ハイビジョン信号を元に更なる質感や解像感を表現する細やかな映像信号を創り出しハイビジョン映像をよりリアルに再現

★独自の信号処理技術により最適なコントラストを実現。明部から暗部にわたる全域のコントラストを向上させ質感の高い映像を実現
★ノイズリダクション特性を向上し、微細なノイズ成分のみを除去しつつ動画時のくっきりとした映像を実現

★14bitの信号処理により自然に近い色再現を実現

一般的なハイビジョン映像



DRC-MFv2によるハイビジョン映像



DRC-MFv2の効果の比較イメージ

従来



デジタル・テクスチャー・エンハンサー

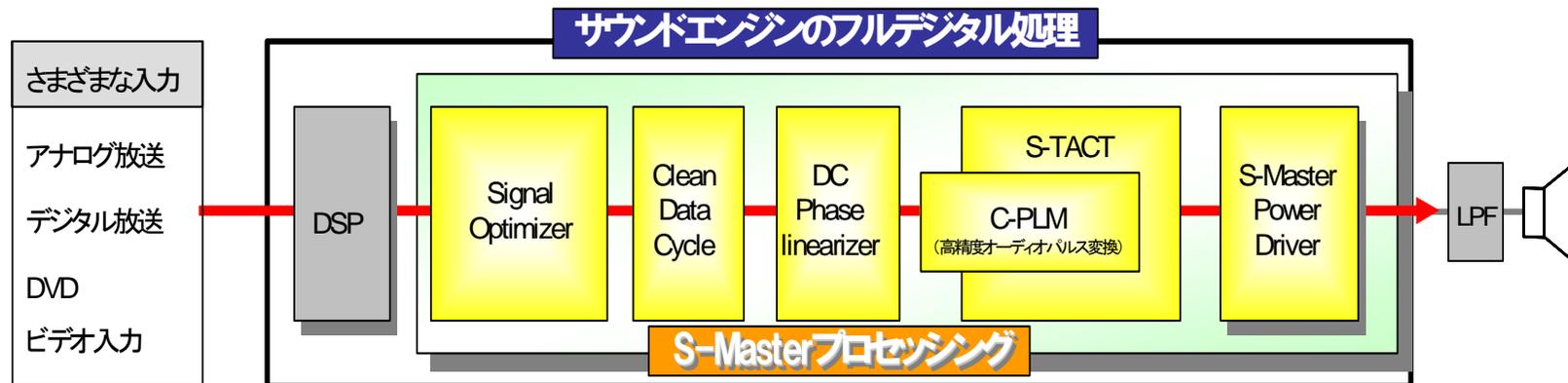


IFPによるコントラストと質感の向上の比較イメージ

参考資料 2 : 高音質

S-master
Digital Amplifier

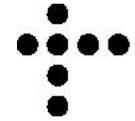
大画面化、高画質化にあわせてオーディオ専用機器に迫る
“臨場感あふれる迫力あるサウンド”を実現



- 100W出力実現のフルデジタルアンプ技術「S-Master」をテレビに最適化して搭載
- ハイパワーの2.1chフルデジタルアンプと大容量スピーカーボックスとあわせて総合出力100W（※）のクリアで迫力のあるオーディオ性能を実現

※<ベガ>シリーズ 『KDL-L26HVX』、『KDL-L32HVX』は30W出力

参考資料 3 : 操作性



PS Xに搭載のCPU「エモーションエンジン」および
描画プロセッサ「グラフィックス・シンセサイザ」の搭載
快適な操作を実現する新ユーザーインターフェイス
「“XMB”（クロスメディアバー）※」



- 多様化するコンテンツや、高機能化する接続機器へ
横軸と縦軸を通して、高速で簡単にアクセス



- 「“XMB”」との相乗効果により、
手元のボタン1つとジョイスティック
で快適な操作を実現する
新“折りたたみリモコン”を採用
テレビの快適な操作を実現

※ “XMB”、“xross media bar”および“”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。